

5 安全なくらしとまちづくり

全14時間

【目標】

- (1) 交通事故や犯罪，火災などの災害から地域の人たちを守るために，警察署や消防署を中心に関係諸機関が協力・連携して対処する体制をとり，実際に対処していることが理解できるようにする。
- (2) 地域の安全を守るために働いている人たちの工夫や努力に気づき，自分も地域社会の一員として努力しようという気持ちをもつことができるようにする。

【学習計画】副読本P53～P58

単元名		学習内容
オリエンテーション (1)		交通安全指導や交通安全教室の経験から，自分たちのまちの安全について話し合う。
1 交通 じこ を ふ せ ぐ (6)	おそろしい交通じこ (1)	交通事故の写真から，事故の様子について話し合い，交通安全について調べる計画を立てる。
	学校の周りを調べよう (1)	学校の周りの交通安全のための施設を実際に歩いて調べる。
	すべての人が，安心して くらするまちに (1)	点字ブロックや音の出る信号機など，様々な人のための安全施設について考える。
	くらしの安全を守る けいさつしょ (1)	警察の交通事故への対処の仕方や連絡の仕組みを調べる。
	交通安全レポートを つくろう (1)	安全なまちづくりについて，自分の考えを調べたことをもとにレポートにまとめる。
	交通安全会議を開こう (1)	レポートをもとに，交通安全について考えたことを交流する。
2 火事 を ふ せ ぐ (6)	あっ，火事だ！ (1)	火災の写真や統計を見て火事について話し合い，学習計画を立てる。
	学校の消ぼうしせつを さがそう (1)	学校内の防火施設の配置を調べて見取り図に表す。
	まちの消ぼうしせつを さがそう (1)	校区内の消防施設の配置を調べて地図に表す。
	消ぼうの早さのひみつを さがろう (2)	消防署を見学し，その仕組みや仕事を調べる。
	大切なのは (1) 「ふだんから，みんなで」	市や町内会の防火の取り組みを調べ，自分たちにできることを話し合う。
安全なまちづくりの てい案をしよう (1)	既習事項や新たに調べたこと，自分の考えを新聞やリーフレットなどにまとめる。	